

パワポ使いこなし術 〈配色〉

田中佐代子

はじめに

配色で悩んでいる研究者は多いのではないのでしょうか。今回はちょっとの工夫で、センス良く、わかりやすくなる配色のポイントを解説します。

3色でキメる！

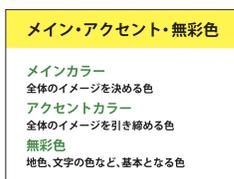
つつい色をたくさん使いすぎていませんか？パワポなどのソフトウェアでは、簡単に色が選べてしまいますが、色がたくさんあると、かえってわかりにくくなってしまいます。

そこで提案するのがメインカラー、アクセントカラー、無彩色の3色にしぼる方法です。大量の色情報を瞬時に認識し、その内容を読み取るのはとても大変なのです。でも3色なら認識は容易なはずです。それと無彩色をうまく使えるようになることも重要です。これであなたもプロに一步近づくかもしれません。

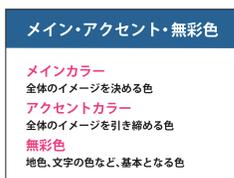


無彩色（白，グレー，黒）

地色，文字の色など，基本となる色



メインカラー：イエロー 無彩色：グレー
アクセントカラー：グリーン



メインカラー：ブルー 無彩色：白
アクセントカラー：ピンク

コントラストをつける

下のA～Cはコントラスト（明度差）が低く，読み取りにくい例です。Aの場合，文字色（グレー）と地色（白）とのコントラストが低く，Bの場合，背景に画像を使っているため，文字が読み取りにくくなっています。Cの場合は，地色（ブルーグリーン）と文字色（レッド）に補色関係*があり，ハレーションが起きてしまっています。それらに比べてDはコントラストが高いので，読み取りやすいです。

*補色関係のある色についてはこちらのWEBサイトをご参照ください。『色彩検定ガイド』補色 http://www.color-sp.com/680color_yougo_h



A. コントラストがない



B. コントラストがない



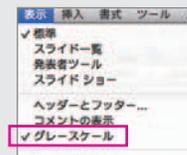
C. コントラストがない



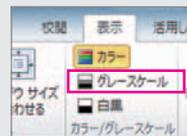
D. コントラストがある

グレースケールビューで簡単チェック！

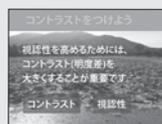
パワポの「表示」を「グレースケール」にしてみると，コントラストの高低が簡単に確認できます。



Macintosh (PowerPoint 2008)



Windows (PowerPoint 2010)



B



C



D

配色のユニバーサルデザイン

日本人男性の20人に1人(5%)、日本人女性の500人に1人(0.2%)に色覚異常があります。より多くの人々にわかりやすく伝えようとするためには配慮が必要です。色覚異常の大多数は「第1色覚異常」(25%)か「第2色覚異常」(75%)で、どちらも赤や緑の識別が困難です。第3色覚異常はきわめてまれな色覚異常です。『色使いのガイドライン(pdf版)』、発行：神奈川県保健福祉部、監修：伊藤啓 http://www.nig.ac.jp/color/guideline_kanagawa.pdf

コントラストが高いと識別が容易

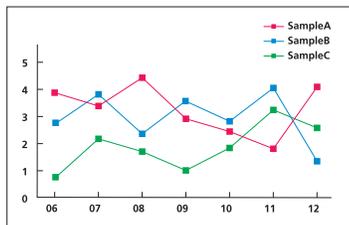


オリジナル

第2色覚異常の見え方

オリジナルに比べ第2色覚異常の見え方は全体に茶色っぽいが、右側の文字はコントラストがあるため識別しやすい。

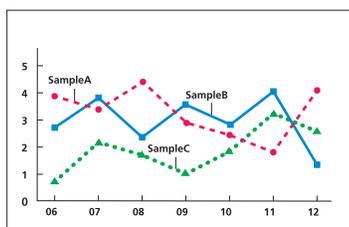
形や文字でも情報を伝える[折れ線グラフの例]



Before

Before に対し After では以下のような配慮を加えています。

- プロット点(マーカー)は形を変える
- 凡例は独立させず、図中に記入する
- 線はなるべく太くする(色や線の違いを認識しやすい)

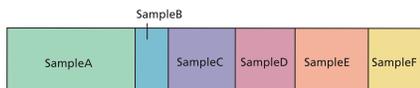


After

境界線を入れる、凡例をグラフ内に表示



Before: 境界がわかりずらく凡例も参照しづらい。

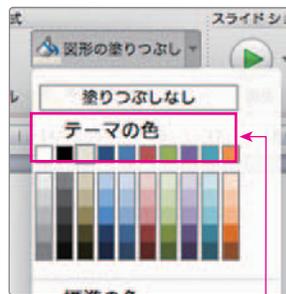


After: いずれも色の境界に黒い線が付け、凡例ではなく図中にラベルとして記入したため、色覚異常者にとってもわかりやすくなった。

色覚シミュレーションに関する無料ソフトなどは特定非営利活動法人カラーユニバーサルデザイン機構のWEBサイトで紹介されています。
<http://www.cudo.jp/colorud/simulation/tools>

パワポで色のカスタマイズ

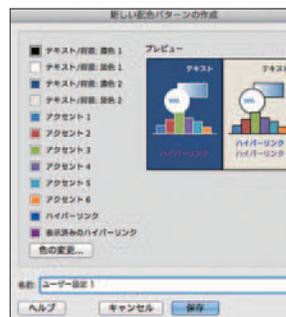
よく使うお気に入りの色をカスタマイズしましょう。パワポの「図形の塗りつぶし」や「図形の枠線」の「テーマの色」を変更することで、色をカスタマイズできます。これで作業効率アップです。



カスタマイズ



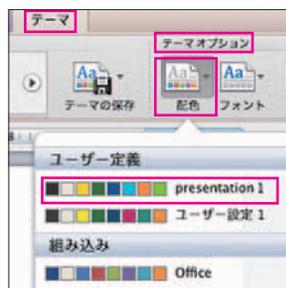
①Macは「書式」→「テーマの配色」選択。Winは「表示」→「スライドマスター」→「配色」→「新しい配色パターンの作成(色のカスタマイズ)」を選択。



②「新しい配色パターンの作成」→「色の変更」で、デフォルトの色を変更できます。



③配色パターンを変更後、任意の名前(例は「presentation1」)を記入し保存します。



④Macは「テーマ」→「テーマオプション」→「配色」→「ユーザー定義」で、Winは「表示」→「スライドマスター」→「配色」で、さきほど保存した配色を選択。



⑤新しい配色パターンを使用できるようにしました。

おわりに

いかがでしたでしょうか。ポイントをつかめば、配色を考えるのが楽しくなるはずですので、ぜひおためしください。次回はパワポ使いこなし術(図形 その1)です。パワポで図形を描くときのコツを解説します。お楽しみに。